

金沢市で第2回日仏自治体交流会議が開催 ～日仏44自治体が一堂に～

日仏の自治体交流をさらに促進していくため、日本側26自治体、仏側18自治体が参加し、石川県金沢市において、2010年5月11日から13日まで第2回日仏自治体交流会議が開催されました。

会議では、「地方ガバナンスと持続可能な発展」を全体テーマに設定し、文化、経済、環境、社会の4つの分科会で、日仏の自治体の首長等が発表及び議論を行いました。13日の全体会議では、日仏自治体に共通の社会問題を解消し持続可能な発展を図るため、連携してプログラムを構築していくことなどを内容とする金沢宣言を採択しました。

また、第3回会議をフランス・シャルトル市で2012年秋に開催することも合意されました。フランスの自治体との交流に興味のある自治体の参画を期待しています。

会議では、新たに日仏の自治体が協力して実施できる具体的な目標やプログラムの提案などが行われ、これまでの1対1の自治体間交流の枠組みを超え、多数の自治体が連携して共通の課題に取り組む新たな自治体交流・協力の意義を示すものとなりました。

金沢宣言の全文は、クリアホームページからご確認ください。

<http://www.clair.or.jp/j/clairinfo/koushinka/index.html#nichi-futsu>